

# 一丁目通信

2024年12月184号

年末も近づき、何かとやるべきことに追われる師走、  
目の前の小さなことにコツコツ取り組む前進が  
「吉」に結びつくと思じて。

代表取締役 飯塚吉純



## 師走です

記事：代表 飯塚吉純

月日が流れるのはあっという間で、2024年も残り1ヶ月です。社会的には様々な出来事がありましたが、当社も新たなアプリケーションの開発や、新たなサービスの提供等を行うべく、トライ＆エラーの繰り返し、2024年が何とか有終の美を飾れるよう残り一カ月を全力で駆け抜けたと思います。

さて、本年最後の展示会として「中小企業 新ものづくり 新サービス展」に出展致します。

この展示会は通常の展示会と違い、「ものづくり補助事業」に取り組んだ全国の中小企業が新たに開発した製品・サービス・技術等と、それをビジネスに活用したい人を「つなぐ」ための展示商談会です。

出展はアーツエイハンとエイコムと2社それぞれで出展しておりますので、お時間がございましたら、東京ビッグサイトまでお越しくださいませ。



## 展示会出展情報

### 中小企業新ものづくり・新サービス展

日時 2024年12月4日(水)～6日(金)

場所 東京ビッグサイト 東7ホール

番号 アーツエイハン E08  
エイコム E07

出展社 株式会社アーツエイハン / エイコム株式会社

WEB <https://www.shin-monodukuri-shin-service.jp/>

事前登録はこちら

<https://app.shin-monodukuri-shin-service.jp/visitor/create/>



JSIS 2024

ものづくり補助事業展示商談会

「中小企業 新ものづくり・新サービス展」

Japan SMEs Tech & Services 2024

## 映画を追い越しそうな現実

記事：映像チーム sato.y

トランプ元（現時点では）大統領がハリス候補に大統領選で勝利しました。で、12月からプライムビデオに、ある新作映画が早くも追加されます。多くの方が今回の大統領選と絡めて話したりしているのでご存知の方も多いと思います。その映画は「シビル・ウォー アメリカ最後の日」というこれまた A24 制作の傑作です。内戦というストレートなタイトルですが、タイトルに有るようにアメリカ国内で内戦が起きて...という話です。メインの登場人物たちは戦場になったアメリカの中を移動するジャーナリストたちなのでドンパチがメインの映画ではありません。

内戦が分断の先のさらに（でもそんなに遠くないかもしれない）先にあり得る世界として描かれています。基本的にカメラマン（写真の）が主役の映画にあまり外れが少ないのはなんでなのでしょう？プライムに入っているなら見て損無しです。で、これが日本で起きるとしたら何と何が分断のすえ戦うことになるかなんて冬休みに考えてみるのも良いんじゃないでしょうか？



## 手のひらサイズの Vlog カメラ DJI Pocket 2

記事：WEB チーム yamamuro

最近「コアラ」に沼って、動物園に行って写真を撮ったりしています。撮影は iPhone13 で行っていたのですが、もっと綺麗に撮りたいという想いから、Vlog カメラ【DJI Pocket 2】を購入してしまいました。現在は新品だと 39000 円ぐらいで買えます。新モデルも出ているので、2 は型落ちなのですが、自分が使う分には問題なかったのこちらにしました。

- ・ジンバル付き強力手ブレ補正
- ・とにかく超コンパクト
- ・起動が早い
- ・内臓マイクの音質も○

本当に小さくて軽いです。鞆の中で失くしてしまいそうなくらい！

撮影もスムーズで機動力もばつぐん。スマホにも直接接続できるので Wi-fi 環境がなくてもすぐに SNS 投稿可能です。縦で撮って TikTok に投稿したり、Youtuber の Vlog 撮影にたくさん使われてるみたいです。



逆にいまいちな点は、電池の持ちが悪い事。USB 充電器は必須です。また、日本語マニュアルがついてないのでネットで調べないといけないのも面倒でした。撮影対象を自動フォローするので早くて動きの読めない動物を撮るにはちょっとテクニックが必要そうです。

まだ全然使いこなせていないので、これからどんどん撮影して腕を上げていきたいと思います！

## 動画の改定について (3)

記事：映像チーム miyake

動画の更新費用を抑えるために、第 1 回では「音声：ナレーションを変更しない」、第 2 回で「その具体的な方法」を紹介してきました。第 3 回ではその他の事例として紹介します。

会社紹介動画を制作するタイミングとして、創業 100 年など、周年を機に制作する場合があります。「創業〇〇年」を謳いために「今年創業〇〇年を迎え」といったナレーションにすると、来年からは使えないといったことになってしまいます。このような場合、「今年版」と「来年以降版」の 2 タイプを同時に制作してしまいましょう。



ナレーション収録は 1 回で、2 タイプの音声ファイルを作成します。映像も周年記念のロゴなどを最後の締めで使用する場合「来年以降版」は通常の企業ロゴにするなど、映像も一部変更があれば同時に制作します。このように予め 2 タイプ制作するというのが決まっていれば、編集や音楽などを考慮し制作しますので、余計なコストはかかりません。

今回で「動画の改定について」は一旦終了となります。動画を制作する際に、少し改訂をしながらでも長く活用しようとお考えの場合のご参考になればと思います。